

平成28年度実施

○住民の防災意識向上のための取組

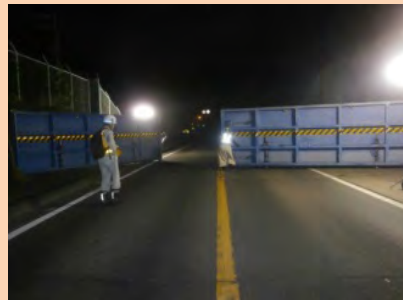
- 静岡市治水交流資料館の利活用による水防災教育の実施
 - ・小中学校等団体の受入れ
巴川シアターや展示物等の説明
 - ・資料館利活用推進事業
小学校4年生を対象に資料館や治水施設を見学するバスツアー



- 安倍川の歴史的治水施設等を説明する副読本を市所管施設に配布
 - ・「徳川家康公と安倍川物語」の配布
 - ・「水に関する地名由来<安倍川・藁科川>の配布・寄贈

○社会経済被害の最小化のための取組

- 陸間の実働訓練に参加し、閉鎖操作を実施
 - ・市内13陸間を3年間で実施
 - ・平成28年度は、4箇所(門屋上、門屋下、牧ヶ谷上、牧ヶ谷下)の陸間を8月に実施



平成29年度予定

○住民の防災意識向上のための取組

- 静岡市洪水・土砂災害ハザードマップ(安倍川・藁科川)の配布・周知(安倍川上・中・下流部および藁科川の4種類を作成)
 - ・市広報紙「しずおか気分」6月号とあわせ、葵・駿河区の全世帯に配布するほか、区で実施される自主防災連絡会や市政出前講座等での周知を図る
 - ・インターネット版ハザードマップについてもリニューアル予定



○逃げ遅れゼロのための取組

- 静岡市水害避難訓練の実施
 - ・6月に、静岡河川事務所にて行う緊急速報メール配信訓練にあわせ、静岡市から避難に関する情報の情報伝達のほか、実働避難訓練による避難方法の検証等を行う予定
- 陸間閉鎖を考慮した避難計画の検討

○社会経済被害の最小化のための取組

- 排水計画の作成
 - ・浸水被害が生じた時に、国の排水ポンプ車等災害対策車両の出動要請を、迅速かつ的確にできるよう計画作成を行う予定

平成28年度・平成29年度の主な取組(静岡県静岡土木事務所)

平成28年度実施

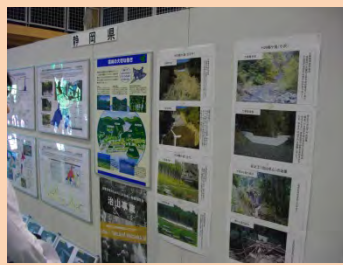
○住民の防災意識向上のための取組



- ・長田西連合自主防災会で出前講座(7/13)
サイポスレーダーのスマートフォン版の使い方を説明。

- ・県庁見学会でサイポスレーダー
について説明(36回/年、1,489人)

- ・梅ヶ島災害50年事業
国・県・市が共同で実施
小中学校への水災害教育



○逃げ遅れゼロのための取組

- ・「安倍川総合土砂管理計画」を踏まえた2支川の河床高等の監視と情報の共有(足久保川・安倍中河内川)
- ・要配慮者利用施設の管理者向け説明会を実施(2/23)
- ・サイポスレーダーの情報をスマートフォン版で配信



○社会経済被害最小化のための取組

- ・重要水防箇所等の合同点検に参加(安倍川合同点検)(6/24)
- ・地域住民や水防団等が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検に参加



平成29年度予定

○住民の防災意識向上のための取組

- ・出前講座を安倍川
流域の小中学校に
拡大



- ・県庁見学会でサイポスレーダーについて説明
- ・将来の県土づくり・「防災、環境」を担う土木技術者の確保を目指して
静岡大学「地域創造学環」の科目に県職員を講師として派遣

○逃げ遅れゼロのための取組

- ・「安倍川総合土砂管理計画」を踏まえた2支川の河床高等の監視と情報の共有(足久保川・安倍中河内川)
- ・サイポスレーダーの情報をスマートフォン版で配信

○社会経済被害最小化のための取組

- ・重要水防箇所等の合同点検に参加(安倍川合同点検)
- ・地域住民や水防団等が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検に参加

平成28年度・平成29年度の主な取組(静岡県中部危機管理局)

平成28年度実施

○逃げ遅れゼロのための取組

1 市町風水害版図上訓練の実施(平成28年7月25日)

市町防災職員を対象に、防災情報の取り扱いや、避難勧告等の発令判断等の防災能力のスキルアップを目的に、実践的なロールプレイング形式による風水害版図上訓練を実施した。



プレイヤー(演習者)

静岡市、島田市、焼津市、藤枝市、
牧之原市、吉田町、川根本町



コントローラー(統制)

静岡河川事務所、静岡土木事務所、
島田土木事務所、中部危機管理局等

2 避難勧告等の発令に関する意見交換会の実施(平成29年2月20日)

市町が抱える避難勧告等の発令に関する様々な課題の解決を図るとともに、国や県による市町への助言・支援体制を強化するため、関係機関が一堂に会した意見交換会を実施し、各機関が改善すべき課題を確認した。

<参加機関>

- 1 市町
静岡市、島田市、焼津市、藤枝市、
牧之原市、吉田町、川根本町
- 2 国・県
静岡河川事務所、静岡地方気象台、
静岡県砂防課、静岡土木事務所、
島田土木事務所、中部危機管理局



平成29年度予定

○逃げ遅れゼロのための取組

1 市町風水害版図上訓練の実施

平成28年度の実施結果を踏まえ、訓練内容を改善して、市町職員の防災能力の更なるスキルアップを目指し、風水害版図上訓練を実施する。

2 避難勧告等の発令に関する意見交換会の実施

平成28年度に引き続き、市町の抱える課題の解決や、国や県による市町への助言・支援体制の強化を図るとともに、“顔の見える関係づくり”を目的に関係機関が一堂に会した意見交換会を開催する。

○住民の防災意識向上のための取組

1 メールマガジンによる情報提供

中部地域の企業等(約600件)に毎月、防災情報のメールマガジン「中部防災ニュース」を発信しており、この中で、風水害や水難事故等に関する情報の発信を行う。

2 水防災に関する学校防災教育の推進

これまで、防災教育の中心であった地震・津波に加え、平成29年度からは“風水害”についても力を入れて、防災出前講座に取り組む。



メールマガジン



【参考】防災教育(地震・津波)の実施例

平成28年度・平成29年度の主な取組(静岡地方気象台)

平成28年度実施

○逃げ遅れゼロのための取組

☆新たなステージに対応した防災気象情報の改善

・「危険を色分けした時系列」

・「警報級の可能性」

磐田市		今後の推移 (■特別警報級 ■警報級 ■注意報級)									備考・ 関連する現象
発表中の 警報・注意報等の種別		17日			18日						
		18-21	21-24	0-3	3-6	6-9	9-12	12-15	15-18	18-21	
大雨	1時間最大雨量 (ミリ)	40	40	40	40						
	(浸水害)										浸水注意
	(土砂災害)										土砂災害注意
洪水	(洪水害)										
強風	風向・風速 (メートル)	陸上	↑12	↑12	↑15	↔15	↔15	↔12	↔12	↔12	
		海上	↑15	↑15	↑20	↔20	↔18	↔15	↔15	↔15	
波浪	波高 (メートル)	3	3	4	4	4	4	3	3	3	以後も注意報級 うねり
雷											竜巻、ひょう

各要素の予想値は、確度が一定に達したものを表示しています。
 ■で着色した種別は、今後特別警報に切り替える可能性が高い警報を表しています。
 ■で着色した種別は、今後特別警報に切り替える可能性が高い注意報を表しています。
 ■で着色した種別は、今後警報に切り替える可能性が高い注意報を表しています。

西部		04/17 18:00発表					04/17 17:00発表			
種別	警報級の可能性	17日	18日				19日	20日	21日	22日
		明け方まで	朝～夜遅く							
		18-24	0-6	6-12	12-18	18-24				
大雨	警報級の可能性	[A]	[A]							
	1時間最大雨量 (ミリ)	40	50	20	15以下	15以下	-	-	-	-
	3時間最大雨量 (ミリ)	50	70	25以下	25以下	25以下				
	24時間最大雨量 (ミリ)		150から200							
大雪	警報級の可能性	-	-							
	6時間最大降雪量 (センチ)	0	0	0	0	0	-	-	-	-
	24時間最大降雪量 (センチ)		0							
暴風 (暴風雪)	警報級の可能性	-	-							
	陸上 最大風速 (メートル)	12	15	15	12	10	-	-	-	-
	海上 最大風速 (メートル)	15	20	18	15	12				
波浪	警報級の可能性	-	-							
	波高 (メートル)	3	4	4	3	3	-	-	-	-

平成28年6月 防災情報提供システムで提供開始(試行的)
 平成29年5月17日13時 気象庁HPで提供予定

平成28年度・平成29年度の主な取組(静岡地方気象台)

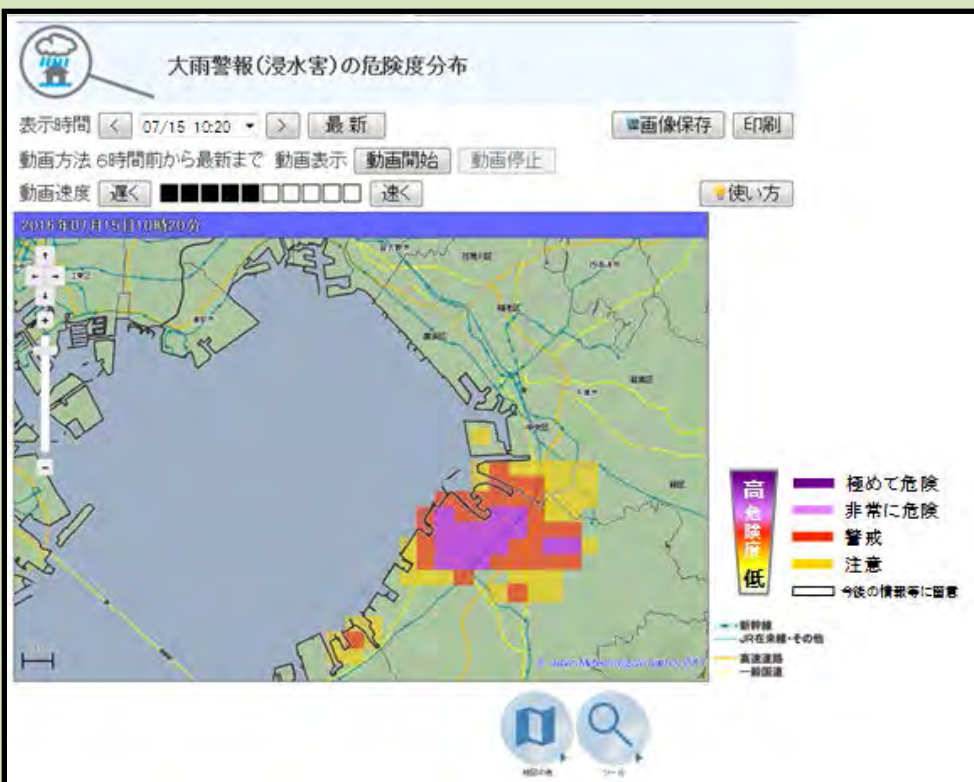
平成29年度予定

○逃げ遅れゼロのための取組

☆新たなステージに対応した防災気象情報の改善

・「大雨警報(浸水害)の危険度分布」

・「洪水警報の危険度分布」



平成29年7月上旬 気象庁HPで提供予定

平成28年度・平成29年度の主な取組(静岡河川事務所)

平成28年度実施

○ハード対策のための取組



安倍川右岸山崎地区

- ・安倍川山崎地区等の築堤工事を実施



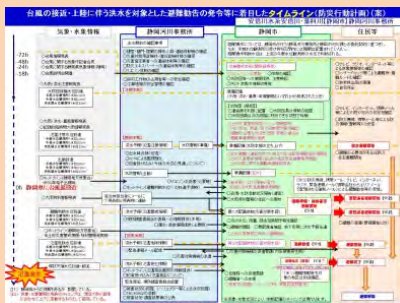
- ・効率的な情報収集のため災害対策室を強化(モニター増設等)

○住民の防災意識向上のための取組

- ・想定最大規模の洪水浸水想定区域図を公表



○逃げ遅れゼロのための取組



- ・台風来襲時を想定した洪水タイムラインの見直しを静岡市と共同で実施

○社会経済被害最小化のための取組

- ・土のうステーション(備蓄砂置き場)を設置



藁科川左岸大原地区

平成29年度予定

○ハード対策のための取組



(整備イメージ)

- ・避難する時間を少しでも確保するため、決壊しにくい堤防整備(堤防の天端舗装)を実施

○住民の防災意識向上のための取組

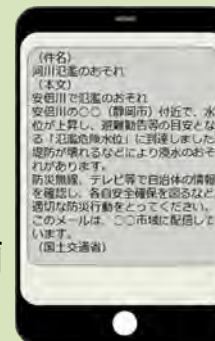


- ・想定最大規模の氾濫シミュレーションの公表
- ・静岡市内の小中学校で防災教育の授業を試行



○逃げ遅れゼロのための取組

- ・安倍川の洪水時に緊急速報メールの配信を開始(5/1~)
- ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成に向けた取組を実施



○社会経済被害最小化のための取組

- ・関係機関と調整をしながら「陸閘閉鎖を考慮した避難計画の検討」「水防団等との意見交換会」等の取組を実施